

**旅に出たくなるパンフレット 高知県須崎市が大賞！！**

**第2回 ふるさとパンフレット大賞 決定**

**特別賞に福島県国見町、優秀賞は静岡県下田市、佐賀県武雄市**

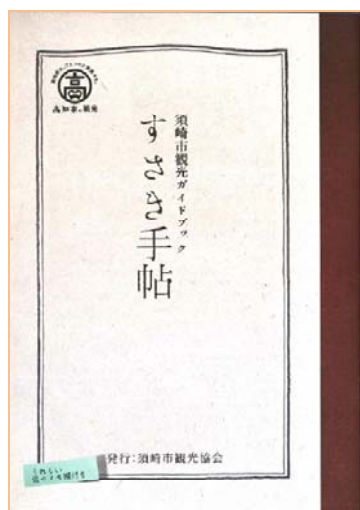
主催：一般財団法人 地域活性化センター

後援：時事通信社、共同通信社

地域活性化センターでは、東京都中央区・日本橋プラザビル1階に「ふるさと情報コーナー」を設置し、都道府県・市町村の観光・イベント等のパンフレット約2600種類を展示し、来訪者の皆様にご自由にお持ち帰りいただいています。同コーナーは、年間、約30万部のパンフレットを提供し、提供部数の多い人気パンフレットランキングを毎年発表していますが、ランキングの上位は有名観光地に集中しがちです。そこで、当センターでは、昨年度から「ふるさとパンフレット大賞～旅に出たくなる、思わず手にとる～」を設け、人気観光地でなくても優れたセンスで地域情報を発信しているパンフレットを表彰しています。この度、第2回の各賞が決定しましたのでご報告させていただきます。今回は、奨励賞、審査委員長賞は該当がありませんでしたが、デザイン性が著しく優れた福島県国見町のパンフレットが審査員の話し合いの結果、特別賞に輝きました。詳細は下記の通りです。事業の内容は、センターホームページ「ふるさと情報コーナー」で検索してください。なお、当センターでは、今年度から、審査委員長の南伸坊氏（イラストレーター）や大賞受賞団体（高知県須崎市）の制作担当者にご出演いただき、「地域パンフレット創造セミナー」（平成27年2月3日）を開催いたします。

記

1. 名称 「ふるさとパンフレット大賞 ～旅に出たくなる、思わず手にとる～」
2. 目的 地域の魅力的なパンフレットの創造により、今は目立たない地域でも多くの方に興味を持っていただき、旅に出ていただくことで地域の活性化を目指しています。
3. 各賞受賞パンフレット
  - ふるさとパンフレット大賞
  - 高知県須崎市「観光ガイドブック すさき手帖」



○優秀賞

静岡県下田市「IZU SHIMODA ペリーが恋した青」  
佐賀県武雄市「総合観光パンフレット」

○楓 千里賞

鹿児島県宇検村「Iラブ 宇検村」

○パッケン賞

宮崎県五ヶ瀬町「五つの季節がある町 五ヶ瀬町」

○マッケン賞

熊本県天草広域本部「天草・宇土半島スイーツ島の山ガール」

○地域活性化センター 理事長賞

長野県小川村「信州小川村 案内手帖」

○特別賞

福島県国見町「国見のたからもの」

4. 審査について

- ① 大賞、優秀賞、奨励賞（各委員持ち点5点で審査）と審査委員賞を決定。
- ② 審査対象は、平成26年10月1日にふるさと情報コーナーに展示されている観光パンフレットです。（対象パンフレット 総数 2358点）
- ③ 審査の基準は、デザインの良さ、言葉の力、使える情報、企画力。

5. 審査委員

委員長 南 伸坊 氏（イラストレーター）  
委員 楓 千里 氏（JTBパブリッシング 執行役員）  
パッケン 氏（お笑いコンビ パッケンマッケン）  
マッケン 氏（お笑いコンビ パッケンマッケン）  
椎川 忍（地域活性化センター 理事長）

なお、第1審査には立教大学観光学部志賀ゼミの5名の学生が当たりました。

6. ふるさとパンフレット大賞 審査委員からのコメント

○南 伸坊 委員長

魅力あるパンフレットというのは、考え方でいろいろでしょう。情報量、企画編集力、デザイン性、ヴィジュアルのクオリティ。  
すべてにわたって高得点というのはかなりむずかしい。すべてにわたってソコソコで結果的に高得点というもの、ある一点に関してはスバラシイという出来上りもある。  
私は、総合点よりも、一目でこちらに響く魅力にあふれているもの、を選びたいですね。光っているもの、魅きつけるもののある作品。

○楓 千里 委員

宇検村のパンフレットには懐かしさが溢れています。セピア色調の写真に村の皆さんの笑顔が広がり、会いに行きたいと思わせてくれました。技が効いている写真のキャプションに、センスがうかがえ編集担当の方はタダモノではない予感が。面白がりながら作った空気感が伝わってきました。大賞の「すさき手帖」は手触りの良さも高評価に繋がりました。手に取ってもらい、保存されるパンフレットは、用紙の選択も重要な要素と言えます。

○パッケン 委員

日本とはなんだろう？昔の僕は、日本の地名を聞かれたら「東京、大阪、広島」ぐらいしか答えられなかったし、イメージを聞かれたら「侍、芸者、新幹線」で止まっていた。そして20年以上日本に住んで、47都道府県を数回ずつ訪れている現在のそんな僕でも、今回のパンフレットを見て、日本をまだまだ知り尽くしていないと思った。行きたいとこ

ろ、食べたいもの、会いたい人がいっぱい残っている！日本を知るこの終わりになき旅の続きが楽しみだ。パンフを持って出かけよう！

#### ○マクン 委員

選考委員をやらせていただいて僕の中では「あれ～？パンフレットはこういうものだったっけ？」というのが第一印象でした！今回たくさんのパンフレットを見させていただきましたが、「なにこれ？と思わず手に取ってみたいくなるようなインパクトのある表紙」「興味深いキャッチコピー」「この奥には何があるの？という全貌を語らない写真や情報」など「全てを見せない見せ方」をするパンフレットが多かったように感じました。また、さまざまなアイデアがパンフレットに組み込まれて、「これを見たら行かずにはいられない！」というパンフレットもたくさんありました。本来パンフレットというのはガイド的な役割のものと思っていた僕には、まさに目から鱗。今までは場所を決めて出かける旅が多かったのですが、これからは、お気に入りのパンフレットを見つけてその地を旅してみるのもいいな～と思うようになりました。

#### ○地域活性化センター理事長 椎川 忍

今年のパンフレット大賞は、レトロなデザインでハンディタイプの「すさき手帖」に決まったが、私はもっとほんのりとしたデザインの「信州小川村案内手帖」を理事長賞とさせていただいた。優秀賞には、オーソドックスタイプで良くできている武雄市、下田市のものが入ったが、このジャンルでは競争が激化していてなかなか賞をとるのは大変だ。その点、特別賞の「国見のたからもの」は見事に洗練されていた。マクン賞となった「天草・宇土半島、スイーツ島の山ガール」はテーマと対象者を絞り込んで、おもしろい企画だと思った。これからはこういったパンフレットが受けるのではないかな。



左から 楓千里 氏、南伸坊 氏、マクン氏、パクン氏

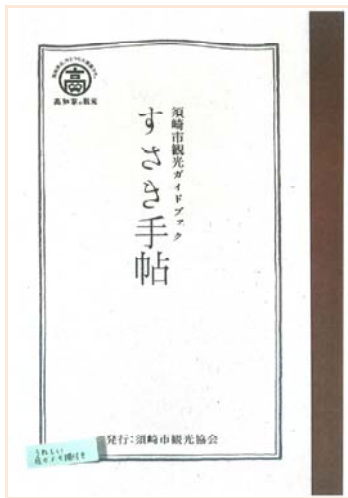
7. 受賞パンフレットの詳細内容は、12月下旬よりホームページでご覧になることができます。受賞パンフレットは「ふるさと情報コーナー」でも展示しておりますが、部数に限りがあり入手できない場合もございますので、ご了承ください。

8. 詳細情報は、地域活性化センター ホームページ 「ふるさと情報コーナー」ページに掲載 <http://www.jcrd.jp/>

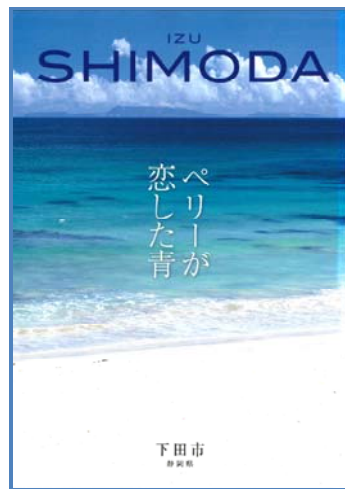
【お問い合わせ先】一般財団法人 地域活性化センター 地域づくり情報課 畠田、津隈  
電話03-5202-6139

## 第2回 ふるさとパンフレット大賞 受賞パンフレット

【大賞】高知県須崎市



【優秀賞】静岡県下田市



【優秀賞】佐賀県武雄市



【楓千里賞】鹿児島県宇検村



【パッケン賞】宮崎県五ヶ瀬町



【マックン賞】熊本県天草広域本部



【地域活性化センター理事長賞】長野県小川村



【特別賞】福島県国見町

